

提出年月日： 令和元年 9 月 6 日

提案団体名： ミネベアミツミ(株)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください	
技術の概要・実績等	技術の分野
環境省によるカンボジアでのJCMプロジェクトを初めとし、無線付き道路灯を中心とした街のスマート化の実績があります。 今回指定された7分野の技術においては、以下の実績があります。 (1) 通信ネットワーク技術とセンシング技術については、道路灯の無線制御(照明ON/OFF、時間別調光)やセンシングデータ取得の用途で、SubGHz帯無線通信、6LowPanによる低消費電力・メッシュネットワーク構築をし、環境センサ(温度、湿度、照度、気圧、風量、降雨)、パーキングセンサの情報を一元管理する実績があります。 (3) データ保有については、NTTコミュニケーションズのサーバー等設備を使い、道路灯のステータス(点消灯、電流監視)、環境センシングデータ(上記)、監視カメラ映像、スマートメーターの消費電力、パーキングセンサによる駐車有無。といったデータをPCやモニターを通して一元管理する実績があります。 (4) データプラットフォームについては、(3)で挙げたデータを一元管理するためのネットワークプラットフォームを構築・管理・運用しています。	(1) 通信ネットワーク技術とセンシング技術 (3) データ保有 (4) データプラットフォーム
(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください	
解決する課題のイメージ	課題の分類
(ク) LED採用および、調光機能を現場の状況に応じたスケジュールにて使用することで電気代の削減。 (エ・キ) 道路灯一元管理によるインフラ維持管理の省力化、工事・受発注の効率化・省人化。 異常の検知、分析、検証、制御という運用、保守のサイクルサービスを提供。 将来の拡張性として (ウ) 雨量センサー、水位センサーのデータを取り、無線にて提供 (ウ) センサーによる道路の状態管理	(ク) 環境 (エ) インフラ維持管理 (キ) 生産性向上 (ウ) 防災
(3) その他	

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
営業本部 スマートシティ推進統括	内田	367586746	kuchida@minebeamitsumi.com